

さまざまな事業モデル 各地で

介護事業所の送迎委託サービスには、モビリティ関連事業者も参入。福祉有償運送やタクシーなど既存の仕組みを活用している。(1面に関連記事)

MuchApp

共同送迎 × タクシー

MuchAppは、配車サービスなど「人とモノが組み合わさって次々とサービスが生まれる」と社会の実現を目指す、モビリティプラットフォーマー企業だ。介護送迎効率化に取り組むべく、25年1~2月にタクシーによる共

ソーシャルムーバー

送迎委託 × 介護タクシー

ソーシャルムーバー（前橋市）は、送迎委託サービス「Care Drive」を23年11月に開始。専用の送迎管理システムで「デイ」と介護タクシーのマッチングを行うものだ。25年2月時点では群馬県内のデイ12カ所、介護タクシー事業

同送迎の実証実験を京都市で実施。大手タクシー事業者のMKタクシー、一般社団法人全国介護事業者連盟関西支部と連携した。

デイ事業所からは、実証実験の対象となる介護度の軽い利用者のリストを収集。送迎管理アプリが自動で工程表を組み、タクシー運転手もアプリ上で確認できる。リストでは、利用者の通所日や住所など基本的な情報から、降車場所や「降車時に玄関まで手で引いて同行する」といった送迎時の対応で特筆すべき点も含めた。ア

タクシー運転手の多くは高齢者のため、運転手に任せられるようになれば職員の添乗などをやめる。「デイ事業者が保険外事業として介護タクシー事業部門を立ち上げ、自社の送迎業務をデイ事業部に移行する」と北嶋社長は話す。

タクシー事業者を受託事業者としたのが最大の特徴だ。利用者の乗降の補助を運転手が行えるため、送迎業務ができる限りデイ職員から切り離せるようにした。

委託料は1台1時間あたり400円。介護タクシーの輸院退院

者10カ所が登録している。デイ事業者にはシステム利用料と介護タクシー事業者への時間制委託料が発生する「送迎にかかる人件費や車両維持費と同程度になる試算」と北嶋社長は話す。

高齢者の介護に慣れている介護タクシー事業者を受託事業者としたのが最大の特徴だ。利用者の乗降の補助を運転手が行えるため、送迎業務ができる限りデイ職員から切り離せるようにした。

委託料は1台1時間あたり400円。介護タクシーの輸院退院

等の移送の報酬に比べると、約半額と低い。しかし、「今までの転院退院等の送迎依頼は安定しない。介護タクシー事業者にとって朝夕に固定でデイ送迎業務が保険外事業として入る」として、収入安

定につながる」と北嶋社長は話す。近隣にあることが求められるが、ここで、通院や保険外事業の送迎依頼も入りやすいという。「デイ事業者にとっても、利用者へ『送

り込まない』とんじたた。

実証を経て、社会実装への準備

が進む」と北嶋社長は話す。

青木隆樹副社長は実証実験中、毎日送迎に追走して課題を抽出。

タクシー運転手の多くは高齢者のため、運転手に任せられるようになれば職員の添乗などをやめる。

「デイ事業者が保険外事業として介護タクシー事業部門を立ち上げ、自社の送迎業務をデイ事業部に移行する」と北嶋社長は話す。

タクシー運転手の多くは高齢者のため、運転手に任せられるようになれば職員の添乗などをやめる。